

誤嚥による窒息に注意しましょう

子どものつまり・窒息の要因

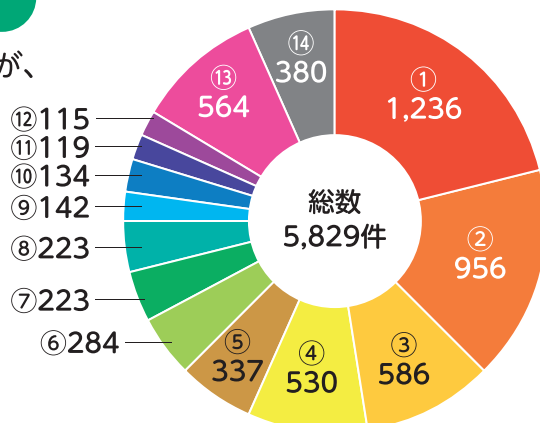
子どもの誤嚥、窒息の要因としては食べ物が最も多いですが、おもちゃにも注意が必要です。

【凡例】

- | | |
|-----------|----------|
| ① 食品・菓子 | ⑧ 洗剤等 |
| ② 玩具 | ⑨ 硬貨 |
| ③ 包み・袋 | ⑩ 文房具 |
| ④ たばこ | ⑪ 服飾品・衣類 |
| ⑤ その他の日用品 | ⑫ 飲料 |
| ⑥ 薬剤等 | ⑬ その他 |
| ⑦ 電池 | ⑭ 不明 |

出典：東京消防庁HP 平成29年から令和3年5,829件の内訳

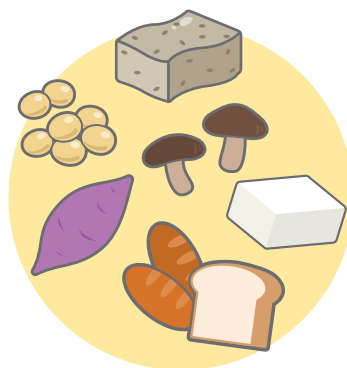
【関連器物別救急搬送人員(0歳-5歳)】



誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の形状や性質

どんな食べ物でも誤嚥、窒息の可能性があります。特に以下の食材は誤嚥、窒息につながりやすいので注意が必要です。また、大きさとしては、**球形の場合は直径4.5cm以下、球形でない場合は直径3.8cm以下**の食物が危険とされています。しかし大きさが1cm程度のものであっても、臼歯がまだ生えそろっておらず、十分に食品をすりつぶすことができない2歳頃までは危険が大きく、注意が必要です。

注意が必要な食べ物の形状・性質	食品の例
① 弾力があるもの	こんにゃく、きのこ、練り製品 など
② なめらかなもの	熟れた柿やメロン、豆類 など
③ 球形のもの	プチトマト、乾いた豆類 など
④ 粘着性が高いもの	餅、白玉団子、ごはん など
⑤ 固くて噛み切りにくいもの	かたまり肉、えび、いか など
⑥ 唾液を吸うもの	パン、ゆで卵、さつま芋 など
⑦ 口の中でばらばらになりやすいもの	ブロッコリー、ひき肉 など



ものが
のどに
つまったら



図a

背部叩打法
(乳児)



図b

背部叩打変法
(年少児)



図c

ハイムリッヒ法
(年長児)

乳幼児では、口の中に指を入れずに、乳児は片腕にうつぶせに乗せ顔を支えて(図a)、また、年少児は立て膝で太ももがうつぶせにした子のみぞおちを圧迫するようにして(図b)、どちらも頭を低くして、背中の中を平手で何度も連続して叩きます。なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減します。大人や年長児では、後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握り拳にして、腹部を上方へ迫します(図c)。



Ishikawa
Medical Association

石川県医師会